

備前市事務事業評価表

事務事業名	道路等維持管理事業（備前）		コード	01-01-11-06
			担当課・係	都市整備課・土木係
			担当者	梶藤
事業実施期間	平成17年度～		電話	0869-64-1835
総合計画 事業（政策）体系	大項目（基本目標）	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目（基本施策）	生活しやすいまちづくり		
	小項目（施策）	道路		

事業について	
目的 (何のために)	安全で安心して円滑に道路を通行するために。
対象 (誰・何を対象に)	市道を通行する歩行者・自転車・二輪車・車両
内容	整備済みの道路構造物、舗装等が損傷して通行に支障等が出た場合に修繕を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
維持修繕箇所(工事費)	21 箇所	8 箇所	
維持修繕箇所(需用費)	101 箇所	63 箇所	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	36,390	国庫補助金等		直接事業費	19,221	国庫補助金等	
	人件費	5,703	受益者負担		人件費	5,416	受益者負担	
	合計	42,093	市債	42,093	合計	24,637	市債	24,637
		一般財源等		一般財源等		0	一般財源等	0

必要人員	0.82	人	0.82	人
結果指標①	結果指標名	修繕箇所数	修繕箇所数	
	結果指標量	122	71	
	単位	箇所	箇所	
	対前年比	-	58.20%	0.00%
	活動にかかるコスト	42,093,000 円	24,637,000 円	
	単位当たりコスト①	345,025 円	347,000 円	
結果指標②	結果指標名	修繕箇所数	修繕箇所数	
	結果指標量	122	71	
	単位	箇所	箇所	
	対前年比	-	58.20%	0.00%
	活動にかかるコスト	36,390,000 円	19,221,000 円	
	単位当たりコスト②	298,279 円	270,718 円	

事業の成果		
どのような成果を得ようとしているか		
成果指標名	式又は説明	
	17年度	18年度
成果指標量		
対前年比	-	
到達目標値		到達目標年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 道路法	妥当性評価<A~E> A 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	市が管理する道路の維持管理であり、市が関与することは妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> A 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	住民ボランティア等の協力を仰ぎ、簡易な修繕箇所を原材支給により行いコストの削減を図っている。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	道路修繕箇所は、早期発見、早期対応が事故の防止につながるため、道路サポーター制度等による住民参画を推進していく必要がある。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況		説明 維持管理予算は削減されており、修繕内容を十分精査し、安全・安心の観点から優先順位をつけて実施していく必要がある。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量①	結果指標量②
	成果指標量	

総合評価	評価区分 <A~E> A
維持管理予算は削減されており、住民参画をよりいっそう促すとともに、修繕内容を十分精査し、安全・安心の観点から優先順位をつけて実施していく必要がある。	

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果